



証券コード
3857

第17期 報告書

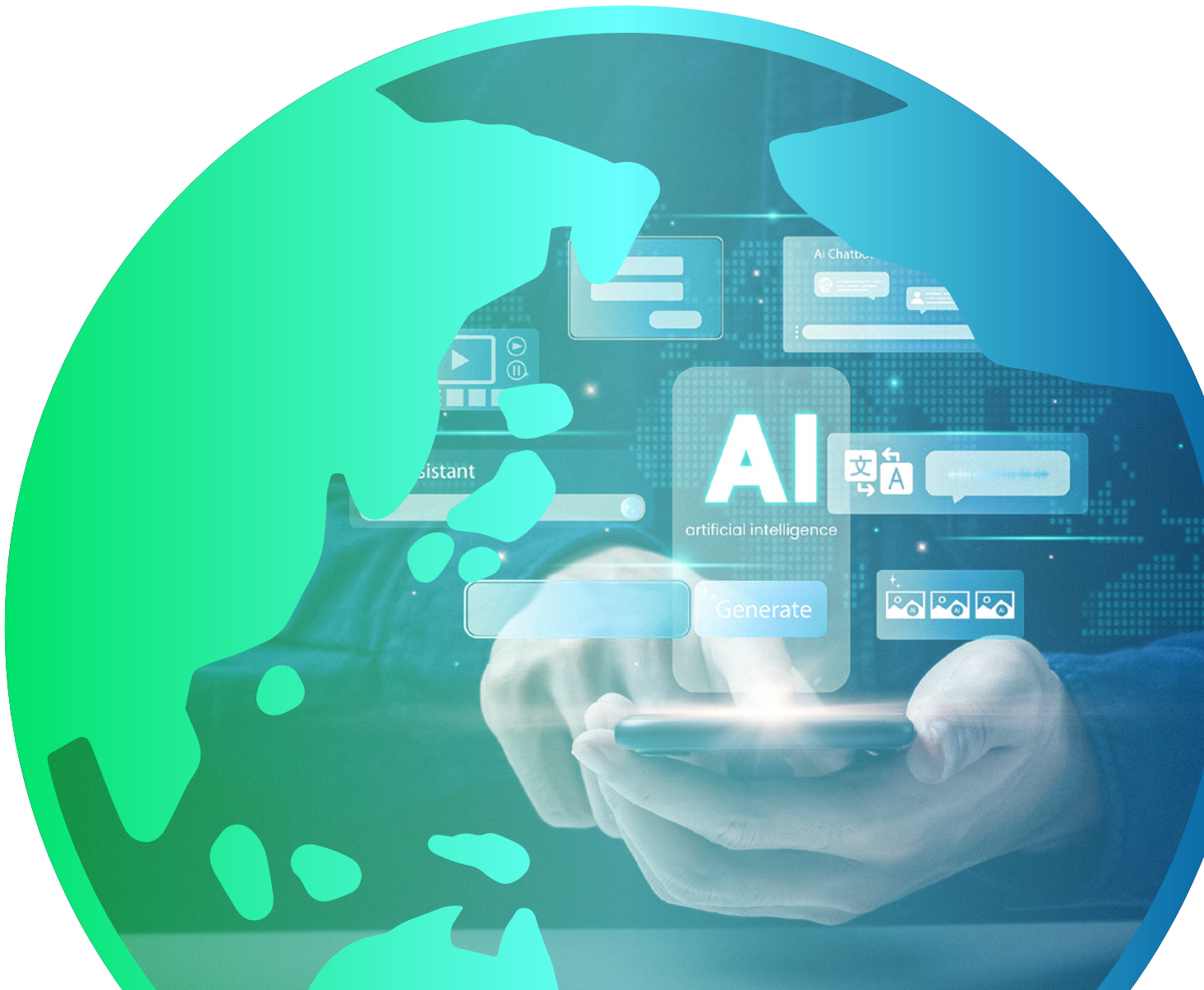
2023.4.1 - 2024.3.31

操作ガイド

[トップメッセージ](#) | [業績ハイライト](#) | [ラックニュース](#) | [各種情報](#)

クリックすると該当のページへ移動できます

[IRサイト](#) → クリックすると詳細ページや外部サイトに飛びます



トップメッセージ

A portrait of Shigenori Nishimoto, Chairman and CEO of Rakuten, wearing a dark blue suit and glasses, smiling slightly. The background is a blurred green outdoor scene.

新中期経営計画のもと、
中長期的な観点で
新たな価値創造を着実に
推進します。

代表取締役社長 西本 逸郎

POINT 1

セキュリティ事業、
SI事業の伸長によって
増収増益となり、
期初予想も達成

POINT 2

前期の年間配当金は
1株当たり26円に決定、
今期は1円増配の
27円を予想

POINT 3

新中期経営計画
(2024-2026年度)
による成長戦略を
新たに策定

成長施策を推進し、増収増益

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類へ移行し、社会・経済情勢は正常化に向けた動きが進みましたが、円安影響等による資源・エネルギー価格高騰や中東情勢緊迫化への懸念などがあり、不透明な状況が続きました。

このようななか、当社はセキュリティ事業の成長施策とともに、SI事業の収益力向上に取り組みました。セキュリティ事業では、大規模案件に迅速かつ効率的な対応を可能とする緊急対応サービスの体制強化を進めたほか、運用監視サービスにおいて低コストで高パフォーマンスを実現する大規模分析基盤を導入するなど、今後の収益貢献に向けた取り組みを行いました。SI事業では、クラウド型サービスの導入・活用を支援するシステム開発案件の拡大や、高度な専門性を持つ先端IT人材のリスキリングなどに取り組みました。

通期の業績は、セキュリティ事業において製品販売や診断サービスなどが拡大するとともに、SI事業で開発サービスなどが伸長したことにより、増収増益となりました。また、期初予想を売上高、利益とも達成しています。なお、年間配当金については、予定通り1株当たり26円といたしました。

新中期経営計画(2024-2026年度)を策定

デジタル活用がより広範囲かつ深く浸透し、これに伴うサイバー脅威もより一層深刻化するなか、セキュリティ事業、SI事業のさらなる付加価値の向上とともに、中長期的な観点で新たな価値創造の推進を目指し、2024年5月に新たな中期経営計画(2024-2026年度)を策定しました。

経営目標を、売上高600億円、営業利益・経常利益40億円、ROE15.0%とし、株主還元についてはDOE(株

主資本配当率)5%を基本指標として、長期的かつ安定的に保有していただくことを目的に、安定した配当水準を維持する方針です。

また、中期経営計画の初年度である2025年3月期の業績は、両事業ともにサービス関連ビジネスの拡大により増収増益の予想としていますが、2026年3月期以降に減床の効果で大幅な経費削減を見込んでいる、平河町オフィスの契約更改等に伴う一時費用の計上により、営業利益は微増を予想しています。年間配当金については、1円増配の1株当たり27円を予想しています。

今後とも当社は、「たしかなテクノロジーで『信じられる社会』を築く。」のパーパス(存在意義)のもと、持続的な成長に向けて取り組みます。株主の皆様におかれましては引き続き中長期的な視点でご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

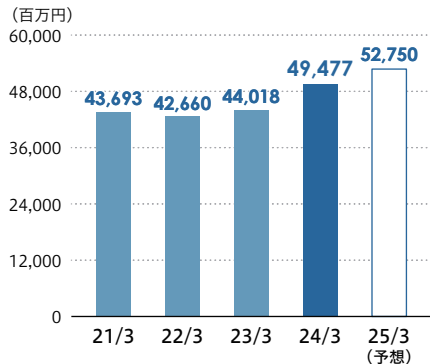
西本逸郎

業績ハイライト

売上高

494億77百万円

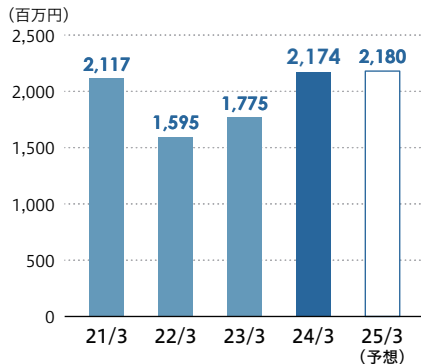
前期比
+12.4%



営業利益

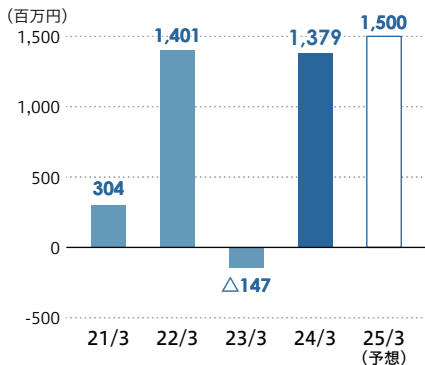
21億74百万円

前期比
+22.5%



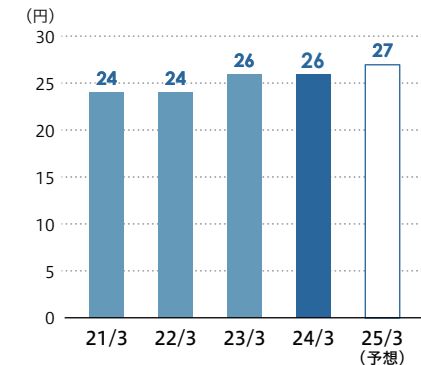
親会社株主に帰属する当期純利益

13億79百万円

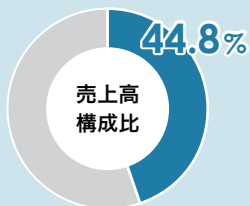


1株当たり配当金

26円



SSS(セキュリティソリューションサービス)



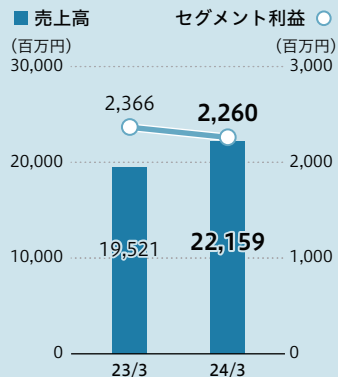
売上高
221億59百万円

前期比
+13.5%

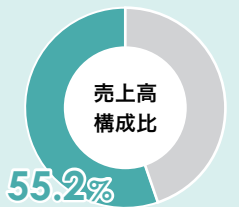
セグメント利益
22億60百万円

前期比
△4.5%

製品販売が大きく拡大したほか、大型案件の売上計上もあり診断サービスが伸長したことにより増収となりました。利益は、事業体制強化や追加対策含めたサービス力強化など、今後の収益貢献に向けた先行投資を進めたことにより減益となりました。



SIS(システムインテグレーションサービス)



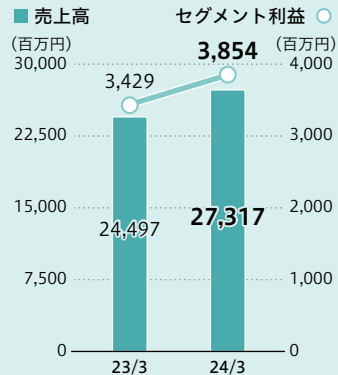
売上高
273億17百万円

前期比
+11.5%

セグメント利益
38億54百万円

前期比
+12.4%

大手銀行、クレジットカードなどの金融業向けや、公共向け案件を中心に開発サービスが大幅に伸長するとともに、更新案件等の獲得でHW / SW販売が大幅に拡大したことなどにより増収増益となりました。



ラックニュース

新中期経営計画（2024-2026年度）

当社は2024年5月に、2024年度（2025年3月期）から始まる新中期経営計画を策定しました。

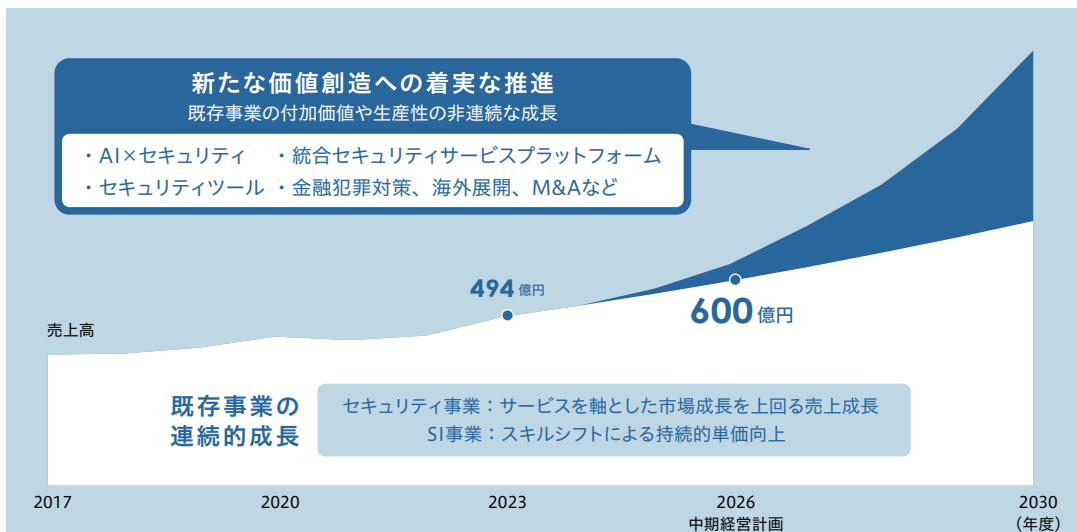
サイバー脅威がより深刻となり、安全保障の要求も高まるなか、「たしかなテクノロジーで『信じられる社会』を築く。」というパーパスのもと、サイバーセキュリティ対策の専門集団として、社員一丸となって社会課題の解決に取り組めます。

新中期経営計画
説明資料



中長期的な価値創造に向けて

中期経営計画の目標値は、既存事業の連続的成長を軸に設定しました。セキュリティ・SI事業の付加価値をさらに向上させるとともに、自動化・AIを活かした対応や総合サービス力による対応に取り組むことで、新たな価値創造を着実に推進します。



経営目標

2026年度の経営目標として、運用監視を軸としたセキュリティサービス事業の拡大、高単価案件へのスキルシフト推進によるSI事業の拡大などに取り組み、売上高600億円、営業利益・経常利益40億円、ROE15.0%を目指します。

売上高

600 億円

営業利益

40 億円

経常利益

40 億円

ROE

15.0%

株主還元

中長期的な視点に立った投資やキャッシュ・フローの状況を勘案の上、利益配分を実施します。

DOE

株主資本配当率

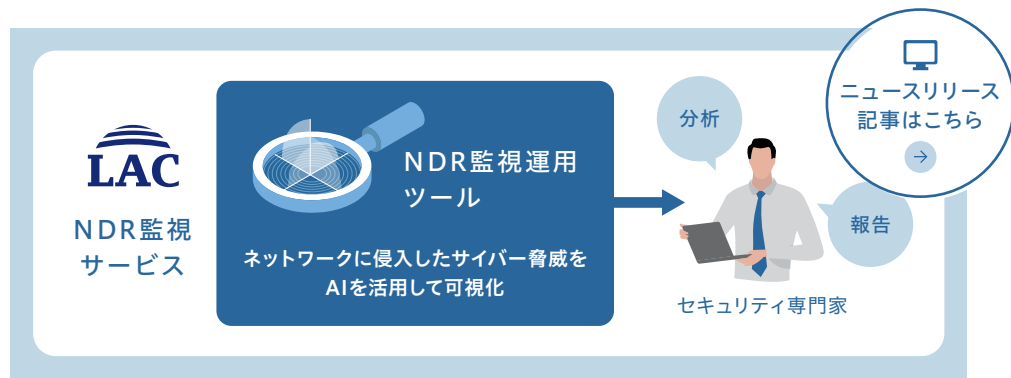
基本指標 5%

ラックニュース

運用監視サービスのサービス力強化への取り組み

デジタル活用が進むなか、企業の扱うデータ量が増加するとともに、サイバー攻撃に対する監視領域も拡大しています。

当社は、ネットワーク上の脅威を効果的かつ効率的に検知するサービスの提供や、膨大な監視データを高いコストパフォーマンスで一元管理する分析基盤の導入を進めました。



ネットワークの脅威情報を検知・分析する監視サービスを提供

AIを活用してネットワーク上の不審なふるまいを検知し、セキュリティアナリストが分析・報告する「JSOC MSS NDR監視運用 for Vectra AI」のサービス提供を開始しました。

エンドポイント（PC端末）向けの監視は導入が拡大してるものの、利用されているネットワーク機器などは対象領域となっておりません。本サービスにより、ネットワーク全体から個々の端末の分析に至るまで一貫したセキュリティ対策を可能とします。

※NDR：AIや機械学習を活用して、ネットワーク上の異常や悪意ある行動を検知しサイバー脅威に対処するソリューション



膨大な監視データの 収集・分析を 高度かつ低コストで実現

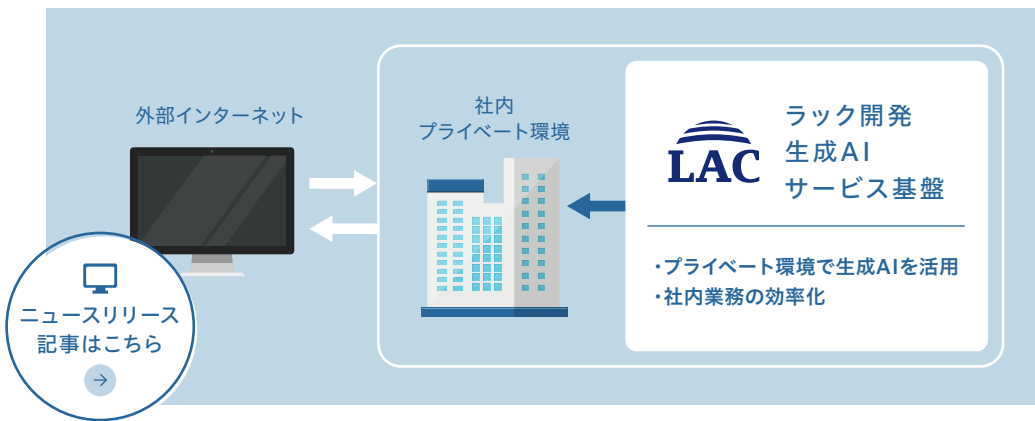
当社の個別監視システムの分析基盤のひとつとして、監視データの収集・分析を高度かつ低コストで行うことができる日本テラデータ株式会社のクラウドデータ分析基盤を採用しました。

大量のデータを一元管理することで分析も容易になるため、サイバー脅威の検知・分析精度が向上します。また、データ量に依存しない価格体系であり、お客様の費用対効果向上に貢献します。

ラックニュース

生成AIを安全に活用するための取り組み

当社は社内業務の効率化を目的に、全社員が生成AIを利用できる環境を構築しています。自社開発した生成AI基盤の利活用で得られた知見をもとに、他社への導入支援サービスを始めたほか、生成AIシステムが内包する特有のリスクを診断するサービス提供に取り組みました。



社内業務を効率化する生成AIサービスを提供

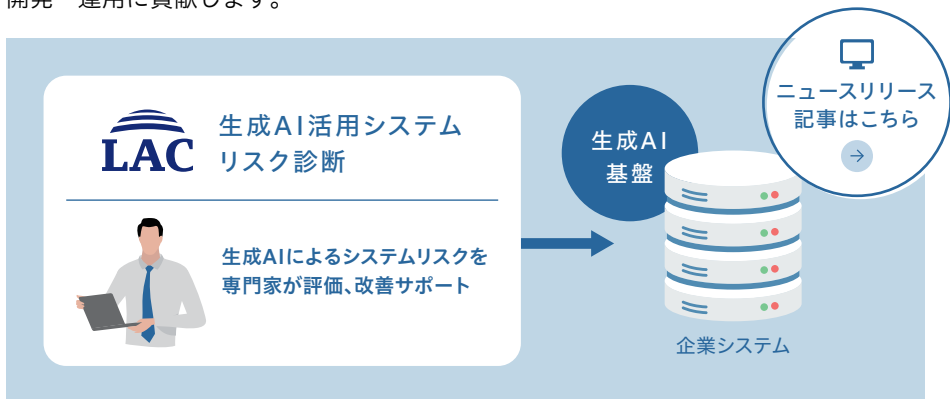
当社が開発した技術基盤を活用し、お客様のプライベート環境で安全に生成AIを活用できる「生成AI 社内活用導入支援サービス」を提供開始しました。

社内に蓄積した膨大なデータを活用することで、業務時間の短縮やチーム間の蓄積データの共有など社内業務の効率化を図ることができ、すでに株式会社横浜銀行と株式会社東日本銀行向けにサービス提供を進めています。

生成AIシステムへの診断サービスを提供

生成AIを使用したシステムを対象に、特有のリスクが含まれていないかを評価して改善点を報告するサービス「生成AI活用システム リスク診断」の提供を開始しました。

生成AIには、システムに設定されたルールを回避して不適切なコンテンツが表示されたり、機密情報が窃取されたりするなどのリスクが内包しています。セキュリティ専門家が生成AIを使ったシステムを診断して評価し、安心・安全な生成AIシステムの開発・運用に貢献します。

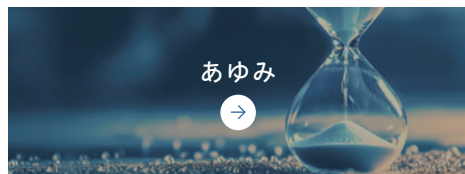


各種情報

会社・事業の概要



会社や事業の概要を「個人投資家の皆様へ」のサイトに掲載しています。ラックがどのような会社なのか、あゆみや強みなど要点を絞って紹介しています。



株主総会の開催内容



株主総会の開催状況や当日の説明資料をIRサイトに掲載しています。開催前には株主の皆様役に役立つよう、オンラインによる議決権行使やご出席のためのリンクも設けています。



決算の状況



決算の概要をまとめた決算説明資料のほか、説明会の動画や説明内容のテキスト、質疑応答要旨を公開しています。業績の推移は「業績・財務・ESGデータ」に掲載しています。



ESGへの取り組み



当社の非財務情報の情報開示として、ESGの取り組みについて掲載しています。「社会」では当社ならではのセキュリティ啓発活動や社員への取り組みを紹介しています。



株式会社ラック

証券コード：3857

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目16番1号平河町森タワー

お問い合わせ

経営企画部 IR室

☎ 03-6757-0107 ✉ ir@lac.co.jp



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採
用しています。